



さくら湖だより



撮影 平成20年5月21日

さくら湖を見守る

ゼンテイカ (ニッコウキスゲ)

さくらの公園では、オレンジ色のゼンテイカ(ニッコウキスゲ)の群生が貯水池を見守るように咲き始めました。これから、開花が進み日月中旬にかけて見頃を迎えます。



三春ダムからの お願い

リフレッシュ放流の実施により、ダム下流の水位が上昇しますので、河川をご利用の際はご注意願います。

リフレッシュ放流とは。。。。

これまで毎秒2.0m³程度の河川の流量を最大で毎秒20.0m³まで増量させることにより

- ①川の石に付着した古い付着藻類を洗浄し、新しい付着藻類の成長を助ける。
- ②河川のよどみ等の環境悪化を解消する。
- ③底生動物、魚類の良好な生育環境の保全を図ること

などの効果を期待するものです。

第1回目を平成20年6月17日(火)より、10月7日(火)までの隔週火曜日に合計9回の実施を予定しています。



リフレッシュ放流

さくら湖水源地域ビジョン

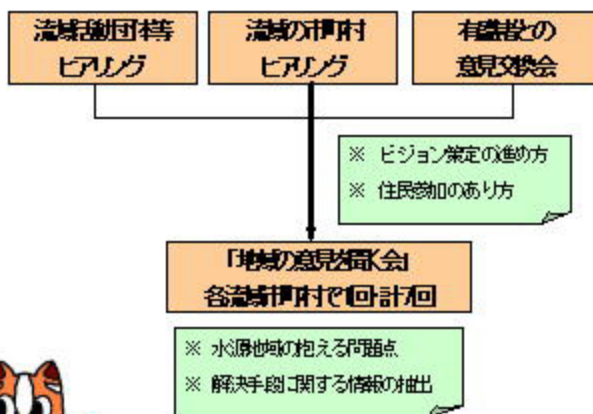
NO. 3 ～ビジョン策定までの経緯 その2～

今回は平成14年度～15年度にかけての三春ダム水源地域ビジョンの取り組みを紹介していきます。

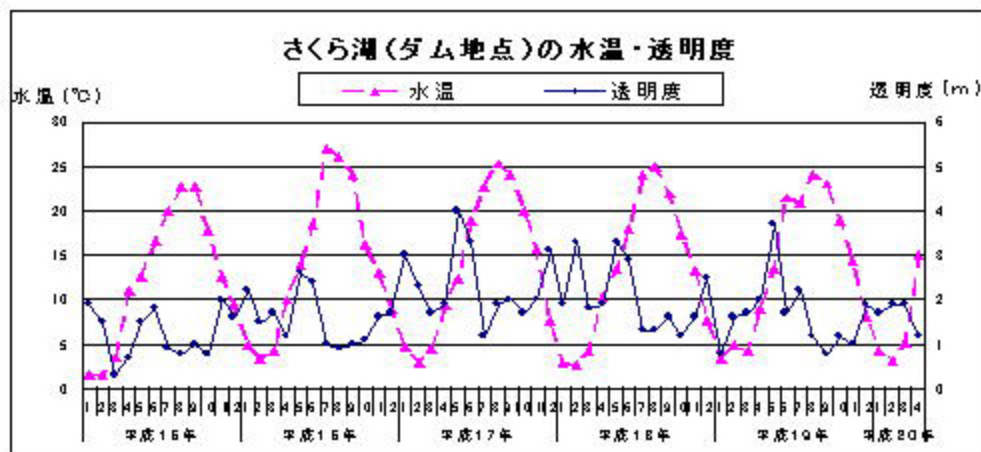
平成14年度に、「有識者との意見交換会」、「地域活動団体ヒアリング」、「流域の市町村ヒアリング」を開催して、学識経験者や地元関係者からビジョン策定までの進め方、住民参加のあり方等に対して意見を頂きました。

その後、平成14～15年度にかけて「地域の意見を聞く会」を水源地域内の自治体でそれぞれ各1回ずつ開催し、地域住民の方々から、水源地域の抱える問題点とその解決手段に関する情報を抽出して、ビジョンを作るための手がかりとしました。

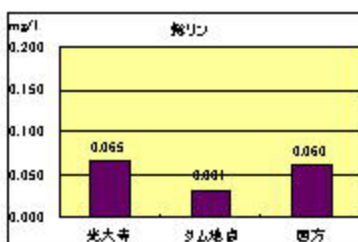
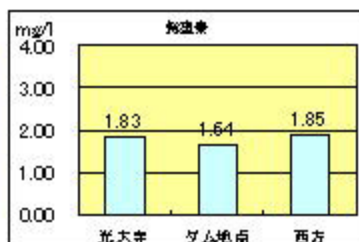
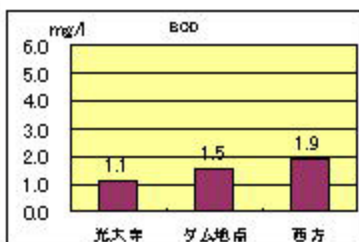
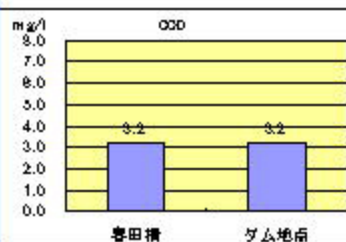
平成14～15年度の取組み



水質の状況 (平成20年4月16日現在)



※透明度の高い湖 摩周湖(北海道) 28m(H3環境庁)



■COD(化学的酸素要求量)
コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。
※全層平均値

■BOD(生物学的酸素要求量)
大滝根川で2mg/l以下とされています。また、コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。
<0.5は0.5mg/l以下

■総窒素
一般に窒素が0.15mg/l以上であると富栄養化するとされています。

■総リン
一般にリンが0.02mg/l以上であると富栄養化するとされています。

三春ダムからのお知らせ

三春ダムでは、皆様のご意見や情報の提供をおまちしています。
郵便またはFAXで

〒 963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内 403-4
国土交通省 三春ダム管理所 FAX 0247-62-3170
ホームページアドレス: <http://www.thr.milt.go.jp/miharui/>



お願い

ダム下流では、ダムからの放流によって水位が上がる場合がありますので、釣り、水遊びなど河川を利用される方は、気象情報・放流情報に十分注意をお願いします。